



## （統）（計）（用）（語）（の）（解）（説）

〔層別抽出法〕層化抽出法ともいい、調査対象の母集団の分布についての予備知識から、母集団をいくつかの層に分け、各層内の要素はなるべく目的とする特性に関して一様であるようにし、層と層との間ではなるべく不均一になるようにする。そうして各層からあらかじめ定められた個数の標本を任意抽出するのを層別抽出法という。この方法は最近標本調査で多く採用されている。

〔安定帯価格〕ある一定の範囲内に安定させる目的で、

人為的に決める価格をいう。たとえば公安価格が廃止された後の価格は、需要と供給の関係から自然に妥当なところに落付くのが本筋であるけれども、重要物資については、生産者が意識的に生産制限を行って、価格の釣り上げを策するような恐れのある場合、生産者代表と需要家代表が話合つて、最高、最低価格を決めることがある。農林省の勸奨で一部の肥料や薬などに行われている。

### 編 集 室

◎来る10月1日にはいよいよ国勢調査が行われることになり、市町村の統計関係者の方は、その準備のために何かとお忙しい日を送っておられることと思います。ここで国勢調査の歴史をチヨツトのぞいて見ましょう。国勢調査がわが国で最初に行われたのは大正9年で、次に同14年、昭和5年、同10年、同14年（物の国勢調査）、同22年、同25年と既に7回実施されており、しかし『全国的人口センサス』という意味からすれば、12回だそうである。更に外国における実施回数を見れば次のとおりであります。

アメリカ合衆国…17回	イギリス………15回
フランス………25回	フィンランド…23回
スエーデン………24回	デンマーク……21回
アイスランド……16回	ノールウェー…15回

◎国勢調査としての歴史が、最も古いのはアメリカで、第1回を1,790年に、次はイギリスの1,801年に行われたそうであるから、わが国の1,920年(大正9年)に比べると、丁度120~130年も古いことになる。更にここで単なる人口調査としての歴史を見れば、その余りにも古いことに驚いてしまう。すなわちバビロニアにおいては、西紀前3,600年頃、エジプトにおいて西紀前2,200年頃に行われたらしい。わが国では日本書記によると、崇仁天皇の12年(西紀18年)頃だそうであります。

◎県ではこのたびの国勢調査に当り、本県の予想人口を懸賞募集(26頁の規定参照)しておりますから、奮つて応募され、目出たく金的を射止めてもらいたいと思ひ

ます。

◎本号は国勢調査のための特集号として、編集しましたから紙面の都合上〔調査の窓〕や〔随想〕などを休ましていただきます。なお表紙の写真は夏の筑波山であります。

◎昭和25年6月以来実施されている小売物価統計調査もここに満5ケ年を経過しましたが、この長期に亘り価格報告者として協力された方々に対し、このたび統計局長より感謝状が贈られることになりました。本県の該当者は水戸市の庄司芳松氏外134名である。

◎日立市では国勢調査の円滑な運営を図るために、「日立市国勢調査実施本部」を設置して、これが実施に万全を期しているそうである。(本部長錦木助役、副部長海野庶務課長、調査班長戸祭統計係長)

### 回 統 計 だ よ り

☆7月15日……定例各市統計主任会議を統計館において開催。

☆7月16日……昭和30年国勢調査事務打合会を各地方事務所調査課長及び各市統計主任者出席の上、統計館で開催した。

☆7月21、22日……第6回全国統計大会が名古屋で開催され、本県より柏原課長、川上係長、田中主事、鈴木嘱託、及び各地方事務所、市町村より関係者105名が参加した。

☆7月25日~8月5日……調査課では昭和30年国勢調査指導員の指導のため、各市及び各郡毎に指導打合会議を開催した。

☆8月9日……定例地方事務所調査課長会議を統計館において開催。

☆8月11日……定例各市統計主任会議を統計館において開催。

## 昭和30年国勢調査予想人口懸賞募集規定

1. 問 題 昭和三十年国勢調査による本県の常住人口は何人です？
2. 応募資格 本県に居住する者に限る。
3. 締 切 昭和30年9月30日（同日消印あるものは有効）
4. 応募方法 用紙は「官製はがき」を用い、人口数は算用数字で記入し、1人1枚に限る。  
応募者は住所、氏名、職業、年令を明記すること。
5. 送 り 先 水戸市北三の丸 茨城県総務部調査課内 茨城県統計協会あて
6. 賞 品

1位	置 時 計(1個)	1名
2位	万 年 筆(14金ペン1本)	2名
3位	電 気 スタンド(1組)	5名
4位	シャープペンシル(1本)	25名
7. 審 査
  1. 審査長は昭和30年国勢調査茨城県実施本部長が、審査員は同本部長及びいはらき新聞社員がそれぞれ当る。
  2. 審査の結果総理府統計局における昭和30年国勢調査の結果速報の公表人口に対し、適中者多数のときは抽せんにより、適中者のないときは最も近いものから順次当選者を決定する。なお同数のものがあるときは抽せんによる。
8. 発 表 いはらき新聞紙上および総務部調査課前に掲記すると共に当選者に通知する。（昭和30年12月下旬の予定）

◎国勢が一目でわかるこの調査!!